

平成24年8月27日

「地域とともにある学校づくり推進協議会」実践発表

コミュニティ・スクール

II

コミュニケーション



河内長野市立石仏小学校
学校運営協議会

教育立市のまち
河内長野市



河内長野市における学校運営協議会

ふるさとの中のつながりを求めて！

地域がある一定の役割と権限のもと学校と一体となって教育活動を！

<観点1> 人口減少社会における学校の役割！

- ・教育課題が山積
- ・多様化する教育要求
- ・学校教育の限界
- ・生涯学習としての学校施設の活用

H16
地教行法改正第47条

H23.4
市教育委員会規則

<観点2> ふるさに根付く おらが学校！

- ・学校・家庭・地域それぞれが責任ある教育をすすめる
- ・地域の子どもは地域で育てる(社会的親)
- ・目指す子ども像の共有化 開かれた学校
- ・教育コミュニティの創造

H23.6
4小学校モデル実施

H24.6
全小学校完全実施

- 外部の人々の専門的知見に触れることで、教員の専門性が向上！
- 学校以外の役割や、家庭教育・地域での教育に責任を感じる人々が拡大！

河内長野市における学校運営協議会の運用

学校運営協議会の設置

ねらい

- 「こどもだいじ」の理念を醸成
- つながりの拡大(子ども教育活動に参画する制度構築)
- 創意工夫を凝らした豊かな教育活動の充実

役割

- 教育課程の基本的なことについて承認する。
- 学校運営や子ども教育活動について意見を述べる。
- 職員のことについて意見を述べるができる。

・家庭教育・地域での教育に責任を感じる人々が拡大！

委員の構成

児童又は生徒の保護者、地域の住民、校長、教職員、学識等 (上限 15名)

会議のながれ

- 学校や子どもの課題を共有
- 課題に対する建設的な方策等の協議
- 具体の取組みを提案

→課題解決のための教育活動へ

学校教育を豊かにする取組み

・学校運営協議会における建設的な意見を学校運営、学校の教育活動に反映。

・地域住民等の参画で実現できる教育活動を展開。

地域住民・保護者



平成24年度 関連予算（1校あたり）

学校運営協議会
会議に係る経費

学校単位の予算 … 予算額 @510,000

〔内訳〕

- ・委員報酬 @480,000(@8,000×6回×10人)
- ・消耗品費 @ 20,000
- ・通信運搬費 @ 10,000

学校運営協議会活動に
係る経費

学校単位の予算 … 予算額 @300,000

- 〔内訳〕
- ・消耗品費 @280,000
 - ・報償費 @ 20,000

※ 学校支援地域本部事業 1部活用可能
中学校区単位の予算… 予算額 @400,000

①今年度の取組 組織の充実

学校関係

校長 教頭 学力向上担当、体力向上担当、生活向上担当

地域・保護者代表

学校支援コーディネーター、学識経験者、保護司、
芝生化実行委員長、青少年健全育成会、青少年指導員、
民生児童委員、主任児童委員、24年度PTA会長、副会長
(計15名)



課題に応じて委員以外の教職員も参加

→ 校内で広め、引き継いでいくため

①今年度の取組 組織の充実



生活向上部会



体力向上部会



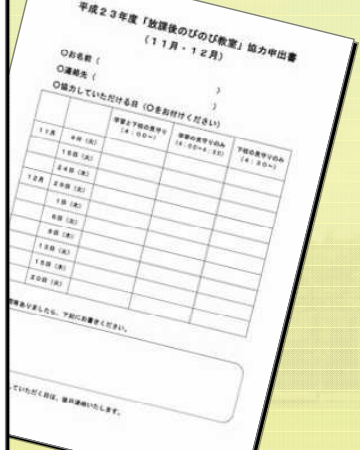
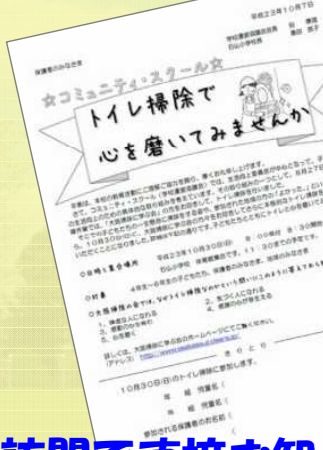
学力向上部会

取組に応じて
三つの部会を
横断的につなげる

①今年度の取組 地域へのPRの充実

学校からの配布物でお知らせ

コミュニティ・スクール関連の手紙は**ピンク**の紙で、他との違いをアピール



電話や訪問で直接お知らせ

- ・人と人との直接のかかわり → 電話をかける、会いに行く
- ・人から人へ伝わっていく**口コミ**も大きな力